

## 名古屋「猫ヶ洞池」

名古屋市千種区に「猫ヶ洞池」という大きなため池がある。レポートで紹介した山崎川の源流のひとつだ。江戸時代、寛文4年(1664)に農業用ため池として造成されたという。

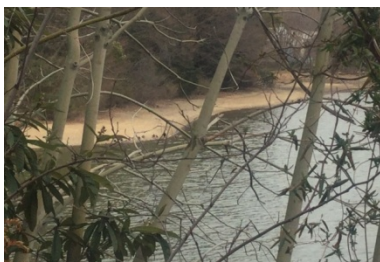
このあたりは鹿子公園で、野鳥保護区に指定されている。真中左奥に見えるのが、「愛知県がんセンター」。次の写真で見える高い塔は、「アクアタワー」。市



東部丘陵地への安定給水と災害時の給水場として、2002年に設置された。その左側に東山動物園のコアラの食料基地「ユーカリの森」が見える。

猫ヶ洞池の東側は、平和公園という名前の広大な「墓地公園」である。戦後まもなく、大規模な戦災復興事業で栄周辺にたくさんあった墓地を、「集団移転」させたものだ。講義や講演でも墓地を「ぼちぼち」ではなく、一挙に移転させた事業として紹介した。確かに栄周辺の名古屋都心は道路が広く、計画的に整備された街並みとなった。名古屋らしい風景だが、なんだか味気ない、潤いに欠けるまちになってしまった。

池の北側には、カモのような多くの鳥が。砂浜で休んでいる鳥の姿も撮影できた。前に紹介した行きつけの理髪店の主人によると、



ここはバードウォッチャーに人気のスポットらしい。

猫ヶ洞池は釣りの名所でもある。池の周囲3分の2は、コンクリート護岸で階段状に整備されている。そこで、多くの釣り人がじっと池に向かって並んでいた。かつては「ヘラブナ釣り」で有名だったらしい。釣り人近くに2羽の鳥がいた。何度も潜ったりしていたので、カワウではないだろうか。



野鳥観察と釣りが楽しめる猫ヶ洞池。そこから名古屋港まで続く山崎川が流れている。また、連載を始めた「山崎川をゆく」を書かなくては。

(2017年3月22日)